

新見公立大学・短大ニュース

No.14 (2010年12月)

発行 新見公立大学・短期大学

718-8585 新見市西方1263-2

Tel: 0867-72-0634

Fax: 0867-72-1492

新見公立大・短大 本館・体育館 2011年度中に建て替え着工

2010年9月13日に一般質問に入った9月定例新見市議会で、老朽化が進む新見公立大・短大の本館と体育館について、市側は2011年度中に建て替え工事を始める計画を明らかにした。本年度中に実施設計を行い11年度中に着工し12年度に完了する。本館体育館は旧新見市立商業高校の建物を改修して使用、築後50年近く経過している。

オープンキャンパスに250人超

2010年7月19日午後オープンキャンパスを開催し196人の高校生が参加した。

また2010年8月18日午後のミニオープンキャンパスに57人の高校生が参加した。

7月19日/8月18日

看護学部看護学科 63人 12人

幼児教育学科 77人 30人

地域福祉学科 33人 14人

地域看護学専攻科 23人 1人

(計) 196人 (計) 57人

オープンキャンパスでは、多数の高校生が教職員や在学生と交流して、本学の雰囲気を感じていた。

2011年度 学生募集要項

募集要項請求先: Tel: 0867-72-0634

新見公立大学・短大 学務課入試係

718-8585 新見市西方1263-2

専攻科看護学士の学位取得

2010年3月に地域看護学専攻科を修了した11人が、大学評価・学位授与機構に学位を申請し看護学士が授与された。

新見公立大学・短大 公開講座

2010年6月に、公開講座が新見市学術交流センター交流ホールで計4回開講された。

○6月4日「外国人の増加と多文化共生—ブラジル人集住地の現実を中心に—」

講師 新藤 慶

○6月11日「鍬で拓いた農の途—新見・阿哲地域における戦後開拓の展開—」

講師 大竹晴佳

○6月18日「新見藩について」

郷土史家 吉村久子

○6月25日「新見市の後醍醐天皇伝説」

教授 原田信之

金ボタルの生態・保護活動学ぶ

幼児教育学科1年生50人は、天王八幡神社(哲多町蚊家)一帯に生息する県天然記念物の金ボタル(ヒメボタル)の生態など、「金ボタルを守る会」の逸見孝明会長から保護活動について学んだ。

学生は見ごろの2010年7月17日(土)夜、中型バス2台で哲多町蚊家の天王八幡神社に出掛け境内で金ボタルを観察した。

宮座の構造や変化などまとめ

地域福祉学科の非常勤講師の崔杉昌(チエサムチャン)さんは、新見市北部の生活環境や祭りの構造、変化をまとめ、民俗学研究書『地域祭祀の日韓比較民俗論』を出版。

1章が「新見の歴史・民俗的概観」で、中世・新見荘に由来する宮座に関しては、その構造や特質と変化を探っている。

昭和60年に神郷高瀬での調査をスタートして以来足掛け20年になる。

地域福祉ボランティア報告会

2010年7月17日に地域福祉学科学生有志の相互ボランティア推進委員会(中川葉留香委員長、12人)は学生会館で、「相互ボランティア報告会」を開き学生ら120人が参加。これまでに経験したボランティア活動について報告し、その学びを共有した。

また、「森林ボランティア」に参加した他大学の学生との交流を行なった。

新見英語サロン100回達成

アメリカ・ニューパルツへの市民訪問団に通訳として参加した山内圭教授が、2005年2月に来日した現地歌手のミニコンサートなどを開いたのが第1回。2008年からほぼ毎週火曜日の夜に開催している。

2010年7月20日に第100回を迎えた。

FD集会でコーチング学ぶ

2010年9月1日にFD委員会(委員長=新藤慶講師)は新見市学術交流センター交流ホールでFD集会を開き、50人の教職員がコーチングを学んだ。日本コーチ岡山チャプター代表寺崎光宣さんが「個別対応でやる気と能力を引き出す」と題し講演した。

第6回アメリカ研修旅行実施

アメリカ研修旅行が2010年8月19日~9月1日の日程にてニューヨーク州で行われ、看護学科2年生4人、看護学部1年生3人、幼児教育学科1年生2人の学生が参加し、看護学部の山内圭教授が引率をした。

新見市の姉妹都市であるニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジを訪問し、ニューヨーク州立大学ウルスター校で研修した。

学生達は一般家庭にホームステイし、現地の医療機関・保育機関を見学し交流行事に参加し、大変有意義な研修旅行となった。

一方、今年度の第12回オーストラリア研修旅行(メルボルン)は3月下旬に予定。

姉妹都市訪問団来学

2010年10月から11月に、新見市の2つの姉妹都市カナダ・ブリティッシュコロンビア州シドニータウンと、アメリカ合衆国ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジからの訪問団が来て、本学にも10月15日にはシドニータウンの、11月1日にはニューパルツ・ヴィレッジの訪問団が来学した。

一行は、学内見学、食事会、授業参加などで学生および教職員と交流した。

地域福祉学科そば種まき・収穫

2010年8月7日に地域福祉学科の1・2年生16人は、神郷高瀬野原の農地でそばの種まきを行った。富谷弘さんが19歳の時戦後開拓で切り拓いた土地をお借りした。

また2010年10月21日には1年生7人が神郷高瀬野原のそば畑で収穫作業を行った。

収穫したそばは来年2月の高瀬公民館での蕎麦打ち交流会で使用する。

地域福祉学科 実習出発式

2010年9月13日、初めての介護実習に入る地域福祉学科1年生を激励するため、実習出発式が開催された。特別養護老人ホーム「神庭荘」の金田安正荘長より「現場実習は社会人になるためのイントロダクション」をテーマに講演が行われた。

地域福祉で戦争体験特別講義

2010年10月7日に地域福祉学科1・2年生約100人が、太平洋戦争中のヤップ島などで戦線を生き抜いた竹本敏美さん(神郷釜村在住)を招き、その体験を聞く特別講義を行った。歴史と高齢者の理解を深めるために、初めて企画した。食糧が尽き、飢えを凌ぐためにトカゲやコウモリまで食べざるを得なかった話、同郷から出兵し戦死した73人全員のお名前や、特攻隊員の遺書の内容を聞き、涙ぐむ学生も見られた。

森林再生へ神郷で間伐作業

2010年9月9日から全国の大学生が間伐などを通して林業への関心を高める「環境保全型森林ボランティア活動」が行われた。

早稲田大・富山大などの学生や社会人に本学の学生を加え約30人が「グリーンミュージアム神郷温泉」に宿泊して、間伐などを行い森林保全について体験的に学んだ。

学生企画認知症講演会に150人

2010年10月9日に新見市学術交流センター交流ホールで認知症をテーマに講演会を開き市民や学生ら150人が理解を深めた。

地域福祉学科学生の実行委員会（岩田倭典委員長）が企画した。

理学療法士で吉備国際大学教員の佐藤三矢氏を講師に、「化粧やマニキュアというおしゃれに認知症予防効果がある」と紹介。

講演会「命の大切さ分かって」

2010年10月13日に合同講義室で学生生活講演会を開いた。大学・短大の1年生160人と教職員が参加、県司法書士会の山岡修氏による「トラブルにまきこまれないために」と題する講演に耳を傾けた。キャッチセールスなど悪質商法の手口を紹介した。

次いで次男を集団暴行で亡くしている犯罪被害者サポート・ファミリーズ理事の市原千代子さんが「子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」と題して講演。

船川八幡宮土下座祭りに参加

2010年10月15日に「土下座まつり」が行われ、地域福祉学科1・2年生100人と教員9人が参加した。学生は、法被に白地下足袋といういでたちで神輿を担いだり、獅子を持ったりして市内を練り歩いた。

また1年生43人はお囃子隊を組み、新見短大オリジナルの「田遊び」「土下座楽」を笛と太鼓で、「イケマー」を太鼓で演奏した。



大学3号館 イルミネーション

幼児教育学科で芋掘り体験

幼児教育学科1年生が哲西町大竹の埵俊二さん所有の畑3アールで苗を植え草取りなどを続けてきたが、2010年10月10日の収穫には学生48人が参加し芋掘り体験をして収穫の喜びを味わった。

新見公立大学 看護学セミナー

2010年10月22日に第1回新見公立大学看護学セミナーが合同講義室で開かれた。

『看護の現場の今を知る』をテーマに岡山大学病院の北川勝弘看護師長と、倉敷市保健所の駒居貴子保健師が体験談を語り、学生にとって男性看護師、保健師の理解が深まった。

中四国公短協 GP 存続へ要望書

2010年11月18日の行政刷新会議の事業仕分けで、「GP」が「事業廃止」と判定されたことを受け、12月2日までに「公立大学協会」中国・四国地区協議会は「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」などへの補助金存続を求める要望書を高木義明文部科学相に提出した。本学は7件のGP採択を受けており、予算を重点的に配分されてきただけに危機感を募らせている。

劇団「すぎのこ」の人形劇

2010年11月13日、新見市学術交流センター交流ホールで劇団「すぎのこ」(所沢市)の人形劇があり市内の幼児親子・幼児教育学科学生ら200人がプロの舞台を楽しんだ。

にいみ子育てカレッジ運営協議会などが4年前から開催、女性団員2人が新美南吉の名作「花のき村と盗人たち」をアレンジした人形劇「どろぼうのなみだ」を上演。

看護でバリアフリー体験学習

2010年11月16日に看護学科2年生64人は、老年期の機能障害疑似体験「バリアフリー体験学習」を行った。腕や足首を固定する片麻痺、ゴーグル(視覚)・軍手(触覚)・耳栓(聴覚)をする感覚障害、車椅子利用の3機能障害を持つ高齢者に扮し、15グループに分かれて市街地に繰り出した。

人権啓発研修会開催

2010年12月1日(水)人権啓発委員会とFD委員会の共催で、「キャンパスハラスメントの予防と対策」と題する教職員対象の人権啓発研修会を開いた。広島大学ハラスメント相談室室長の横山美栄子先生が講演し、キャンパスハラスメントの基礎知識、大学の基本姿勢、学生相談の対応などを学び、模擬事例でのグループワークも行った。

地域福祉学科で餅つき

2010年12月1日、地域福祉学科1、2年生は短大中庭で餅つきを行った。

学生による実行委員が主体となり一昨年・昨年に続いて企画、神郷高瀬地区民(男女8人)と学生ら総勢約130人が参加した。

1年生が田植え、稲刈り、脱穀をして収穫した餅米250キロのうち30キロを使用。

臼・杵などは地区民が持ち寄った。

看護学科で看護研究発表会

2010年11月17、18の両日、看護学科3年生62人は看護研究発表会を開いた。

妊婦・小児・高齢者・看護技術など多岐にわたる卒業研究を後輩、保護者、実習指導者や教員らの前で口演、ポスターセッション形式で発表した。

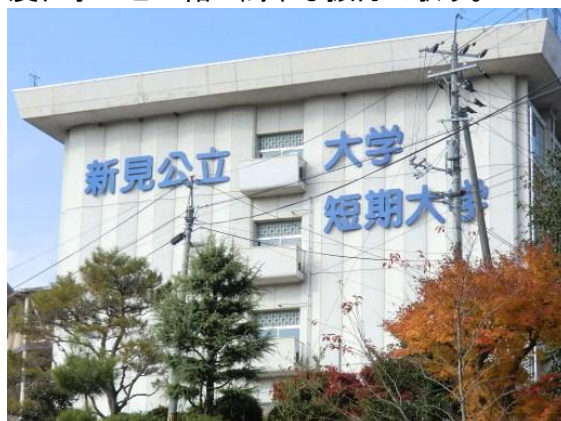
看護学科「卒業生と語る会」

2010年12月3日に学生会館で、26期生の高田寛之さん(倉敷中央病院)、松浦裕子さん(大阪市立大学附属病院)、藤田彩見さん(井原保健センター)、27期生の大杉苑子さん(六甲アイランド病院)、長崎瑞恵さん(島根県立中央病院)の卒業生5人を招き、看護学科2年生が臨床での仕事や進路決定についてお話を伺った。

こどもフェスタ出演親子募集

幼児教育学科1、2年生による「にいみこどもフェスタ」は来年2011年2月26日(土)で20回を迎える。記念企画としてオープニングで学生と一緒に出演の親子を募集。

新見市学術交流センターで子育て支援に取り組んでいる「にいみ子育てカレッジ(愛称にこたん)」が協力する。対象は0～6歳の子供と保護者で、オープニングの10分程度、学生と一緒に簡単な振付で歌う。



編集委員長 田邊 洋

編集委員 難波正義、杉本幸枝、松本百合美、
山内 圭